

## 雄勝地区

12月18日(金)、大須小学校の5・6年生が雄心苑を訪れ、入所者の皆さんと交流を深めました。  
今年2回目の訪問となったこの日は、クリスマスソングを歌い、お手製の紙芝居「うらしまたろう」を発表し、児童一人一人が手作りのプレゼントを贈りました。  
最後に児童の代表が、「今日が最後の訪問ですが、僕たちのことを忘れないでください」とあいさつすると、入所者の方からは「今日は本当にありがとう。これから寒くなるから風邪を引かないようにね」と心暖まる言葉があり、会場は一瞬いささか笑い顔でいっぱいになりました。

### 交流イベントでやさしい笑顔で！



## 河北地区



### 無火災・無災害を願って

1月10日(日)、北上川河川敷で河北地区消防出初め式が行われました。  
当日は、消防団員や婦人防火クラブなどの消防関係者が一同に集まり、消防団長などから観閲を受けた後、無火災、無災害を祈願して一斉放水が行われました。  
その後、河北総合センター(ビッグバン)で表彰式が行われ、日本消防協会から日野団長が表彰されたほか、宮城県消防協会などから多くの消防団員が表彰されました。

## 桃生地区

12月12日(土)、桃生公民館で年賀状・クリスマスカード手作り教室が行われました。  
この日は、大人7人、子ども11人の計18人が参加し、紙を切り抜いて「もみの木」を作ったり、手の指にスタンピングをつけてサンタクロースの絵を描いてみると、楽しい雰囲気の中で、オリジナリティー溢れるクリスマスカードが出来上がりました。また、年賀状に添える季節の絵などを教わり、「完成した自分たちの作品を、親しい方に送りたい」など楽しみにしているようでした。

### オリジナルカードを作ろう



## 河南地区



### 楽しいひとときでした♪

12月15日(火)、前谷地保育所でクリスマス会が行われました。  
新型インフルエンザの影響で秋から冬にかけて行われる予定だった遠足や発表会が残念ながら中止となっていたため、子ども達にとっては待ちに待ったイベントとなりました。  
誓いの火を持った女神たちを静かに迎えて開会し、この日のために練習してきた歌や踊りで盛り上がった後は、大好きなサンタさんが登場！子ども達は大喜びでプレゼントを受け取り、「お家にも来てね」と約束の固い握手を交わしていました。  
どんな飾りやイルミネーションよりも、キラキラ輝いている笑顔がとても素敵でした。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

## 牡鹿地区

1月4日(月)、牡鹿公民館駐車場および牡鹿体育館を会場に、「平成22年牡鹿消防団消防出初め式」が行われました。屋外では、新春の澄みきった青空の下、団旗入場や国旗掲揚、観閲など団員の雄々しい姿に身が引き締まる思いがしました。

また、式典では、永年にわたり地域の消防団活動に寄与された方や従事した団員に対して、賞状などが贈呈されました。



## 新春恒例『消防出初め式』

## 北上地区



## 月浜地区の『おかし』春祈禱!?

1月10日(日)、月浜地区で春祈禱が行われました。この季節にはよく見られるお正月の風物詩ですね。この地区の子ども達は、春祈禱をとても楽しみにしています！それはなぜかといひ…

この日、各家庭では、お獅子が回つて来た時、その後に続く子ども達へ「褒美としてお菓子を用意して待っています。いつの間にか、もらったお菓子は用意してきた『マイバック』の中いっばいになり、子ども達は大喜び！という訳です。

「この日はちびっこ人口がすっくく増えるんですよ」と地区の方が笑っていました。

## 石巻地区

1月9日(土)、蛇田の大型商業店で、「第7回どごとくんと石巻大商業祭」の公開抽選会が行われました。

会場には、抽選券を手にした多くの方々が詰めかけ、緊張感いっばいで幕を開けましたが、開会直後に行われた、アトラクション「江戸芸かっぱれ」が場内の緊張をほぐしてくれました。

主催者の粋な計らいで、抽選には、指名された来場者も参加し、より一層の臨場感を演出していました。当選番号が次々と読み上げられ、抽選の様子をかたずをのんで見守っていた来場者は、メウを取りながら一喜一憂し、ハラハラドキドキの抽選会でした。

## ハラハラドキドキ!! 大商業祭公開抽選会



## 変わることにない願いを込め

1月7日(木)、市内の若手有志でつくる「石巻裸参りの会」の皆さんが、羽黒山鳥屋神社(羽黒町)を出発し石巻駅前、立町を通り、大島神社(住吉町)までの約1キロを練り歩きました。

代表の毛利さんは「今年も、家内安全、無病息災、地域の安全など変わることにない願いを込めて参拝しました」と話していました。

この裸参りは、今年で5回目となり、若者たちがさらしを巻き、白足袋にわらじをはいて、引き締まった表情で歩く姿は、お正月の風物詩の一つとして定着してきました。

